



***SPORT
FOR
TOMORROW***

**スポーツ・フォー・トゥモロー
～2020年に向けたスポーツ国際貢献～**

SPORT FOR TOMORROWとは

■ SFTの概要

- 2014年から**2020年までの7年間で**
開発途上国をはじめとする**100カ国以上・1000万人以上**
を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業。
 - 世界のよりよい未来をめざし、スポーツの価値を伝え、
オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを
あらゆる世代の人々に広げていく取組み。
 - 外務省、スポーツ庁及び関係諸機関による既存・新規プログラム、
会員団体による認定事業で構成。
- 「2020」東京招致を契機に…
- 2013年9月 ブエノスアイレス 招致プレゼンテーション
→ 「SPORT FOR TOMORROW」の発足を宣言
 - これまで培ってきた活動を、今一度
オールジャパンでの取組みとして**拡大、促進**

SPORT FOR TOMORROWとは

活動領域: 3つの柱



■ 主な実施団体

- ・外務省 ・JICA ・国際交流基金
- ・スポーツ庁 ・JSC ・会員団体



スポーツを
通じた
国際協力
及び交流



国際スポーツ
人材育成拠点の
構築



■ 主な実施団体

- ・スポーツ庁 ・筑波大学
- ・日本体育大学 ・鹿屋体育大学



国際的な
アンチ・ドーピング推進
体制の強化支援



■ 主な実施団体

- ・スポーツ庁
- ・JADA (日本アンチ・ドーピング機構)

スポーツを通じた国際協力および交流

SPORT
FOR
TOMORROW



スポーツ関連施設の整備



スポーツイベントの開催支援



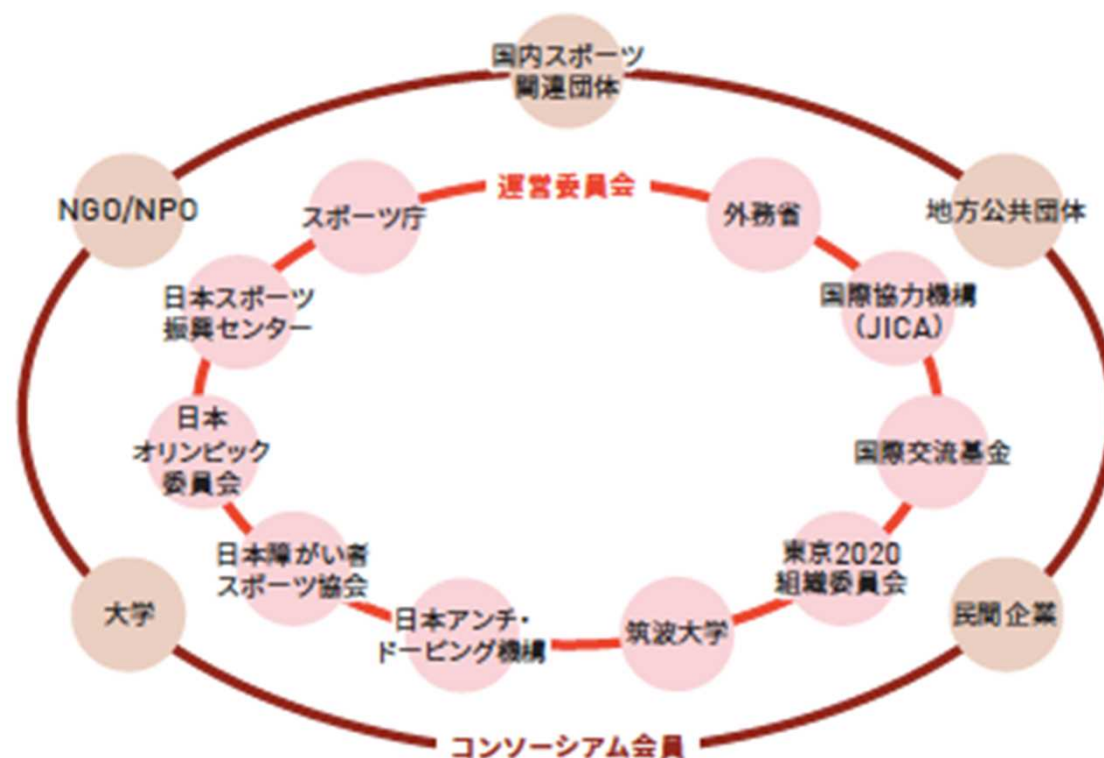
ボランティアの派遣



学校体育カリキュラム策定支援

■ スポーツ・フォー・トゥモローコンソーシアム

スポーツ庁・外務省を中心とした「**運営委員会**」と、SFTの趣旨に賛同し、スポーツを通じた国際貢献に携わる民間の諸団体からなる「**コンソーシアム会員**」にて構成



■ 2015年12月25日現在で、計**123団体**が加盟

会員団体数のカテゴリー別推移(運営委員会団体除く)

	設立時 (2014年9月)	現在 (2015年12月)
国内スポーツ関連団体	21団体	47団体
NGO / NPO	6団体	35団体
民間企業	0団体	25団体
大学	1団体	8団体
地方自治体・関連団体	1団体	6団体
その他	0団体	2団体
合計	29団体	123団体

コンソーシアム会員一覧

(2016年1月12日現在)

SPORT
FOR
TOMORROW

国内スポーツ関連団体 50団体

アルファバドミントンネットワーク
浦和レッドダイヤモンドズ
大宮アルディージャ
鬼ごっこ協会
講道館
志道館
スマイルクラブ
全日本アーチェリー連盟
全日本空手道連盟
全日本空道連盟
全日本柔道連盟
全日本テコンドー協会
全日本ボウリング協会
FC東京(東京フットボールクラブ株式会社)
日本アイススレッジホッケー協会
日本ウエイトリフティング協会
日本キャスティングスポーツ連盟
日本車椅子バスケットボール連盟
日本ゲートボール連合
日本ゴールボール協会
日本サッカー協会
日本障がい者シンクロナイズドスイミング協会
日本身体障がい者水泳連盟
日本スポーツツーリズム推進機構
日本セーリング連盟

日本ソフトボール協会
日本体育協会
日本卓球協会
日本チアリーディング協会
日本テニス協会
日本テニス事業協会
日本トライアスロン連合
日本バイアスロン連盟
日本バドミントン協会
日本パラサイクリング連盟
日本パラ・パワーリフティング連盟
日本パラ陸上競技連盟
日本パラリンピアンズ協会
日本バレーボール協会
日本パワーリフティング協会
日本ハンドボール協会
日本フェンシング協会
日本フライングディスク協会
日本フレスコボール協会
日本プロサッカーリーグ
日本プロ野球名球会
日本ホッケー協会
日本ラグビーフットボール協会
日本陸上競技連盟
ふうせん遊び協会

民間企業 25団体

アサツーディ・ケイ
アシックス
エイチ・アイ・エス
大塚製薬
小川長春館
オットーボック・ジャパン
キヤノン
近畿日本ツーリスト
サニックス
ジェイティービー
ジェイ・ワークアウト
JIN
セノー
セレスポ
セントラルスポーツ
デサント
電通
Dreamers Japan
日本卓球
日立ソリューションズ
フォワード
丸紅
漫画家学会
ミズノ
山本光学
リーフラス

コンソーシアム会員一覧

NGO/NPO等 36団体

アジアの障害者活動を支援する会
アスリートソサエティ
アフリカ開発協会
アフリカ野球友の会
Enije
NGO活動教育研究センター
オセアニア地区スポーツ支援機構
嘉納治五郎国際スポーツ研究・交流センター
Kids One World
CATiC
協力隊を育てる会
国際協力NGOセンター
国際せきずい損傷リハビリテーション協会
国際文化交流協会
子どもスポーツ国際交流協会
ジャパンスポーツコミュニケーションズ
Japan Dream Football Association
シャンティ国際ボランティア会
柔道教育ソリダリティ
障がい者スポーツFriendly Action
少年軟式野球国際交流協会(IBA)
青年海外協力協会
太陽の家
Dooooooooo
難民を助ける会
日本国際協力システム

日本財団
ネパール野球ラリグラスの会
Non-Violence Project Japan
ハート・オブ・ゴールド
ピースボールアクション
南アジア友好協会
民際センター
Little Bees International
Little Bridge
ワールドランナーズ・ジャパン

地方自治体・関連団体 6団体

高知県観光コンベンション協会
東京都オリンピック・パラリンピック準備局
名寄市
北海道
福岡県
北海道総合研究調査会

その他 2団体

国立大雪青少年交流の家
独立行政法人 日本学生支援機構

大学 9団体

大阪大学
鹿屋体育大学
共立女子学園
国際武道大学
十文字学園女子大学
桐蔭横浜大学
日本体育大学
びわこ学院大学
流通経済大学

合計会員数

129団体

(2016年1月12日現在)

入会申し込み方法

■入会申し込み方法:

- ① 所定の入会申込書に必要事項をご記入ください。
「これまでに実施されたスポーツ国際貢献の実績」「スポーツ国際貢献に関する今後の予定」「SFTCに提供することができる情報」
に関する情報についてもお書きください。
- ② SFTC事務局までご提出ください。 Email: sft.info@jpnnsport.jp
- ③ 運営委員会で審査・承認させていただきます。(所要日数:2~3週間程度)

■入会条件:

SFTCの趣旨に賛同するスポーツ国際貢献に携わる競技団体・NGO・NPO・
地方公共団体・民間企業・大学等

■入会金：無料

※ご不明な点がございましたらSFTC事務局までお気軽にご連絡ください。

■ 認定事業

- **会員団体**が実施するスポーツを通じた国際貢献事業・国際交流事業を、会員団体からの**事前申請に基づき**、運営委員会で、「**SPORT FOR TOMORROW 認定事業**」として認定。
- SFTのロゴやバナーを提供し、**SPORT FOR TOMORROW のムーブメント**を世界に広げていく。
- 2015年10月現在で会員団体による**約50事業**を認定している。

(1) モンゴルスペシャルオリンピックス卓球代表チーム支援

- **日本卓球協会**が、モンゴル自閉症協会から支援依頼を受けたことをきっかけとした**SFTC初のマッチング支援**。
- **株式会社アシックス**が、スペシャルオリンピックスモンゴル代表選手に卓球用シューズ、卓球用ユニフォーム、スポーツウェアを提供し、**日本卓球株式会社**が、ウランバートル市内にある4つの特別支援学校に卓球台を提供。
- スペシャルオリンピックスではモンゴル代表選手が卓球で**銀メダル**を獲得。



SPORT FOR TOMORROW 認定事業例紹介

(2) アジア太平洋こども会議・イン福岡 スポーツ交流事業

- SPORT FOR TOMORROW **初の地方公共団体実施による認定事業。**
- 福岡県が今回27回目を迎える招聘事業で、「運動会」と「プロサッカー選手によるサッカー教室」という**スポーツ国際交流プログラム**を実施。
- **アジア太平洋33カ国**から集まった**210名**の「こども大使」が言葉や文化を超えてスポーツでの交流を行った。



SPORT FOR TOMORROW 認定事業例紹介



NEWS RELEASE



平成27年8月5日
スポーツ・フォー・トゥモローコンソーシアム事務局
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

スポーツを通じた国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム

2012 ロンドン金メダリスト(ハインリッヒ ポポフ選手)、2008 北京銀メダリスト(山本篤選手)の指導を受け、

オットーボック・ジャパン、大腿切断者向けランニングクリニック

【取材のご案内】8月21日(金)~23日(日) 日本大

報道関係各位

「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)※1コンソーシアム」では、オットーボック・ジャパン(金)~23日(日)に開催する「大腿切断者向けランニングクリニック」を、「スポーツ」として承認しました(※2)

クリニック当日は、パラリンピックメダリストを指導者に迎え、ランニング初心者からアスリートまで、様々な活動レベルの大腿切断者12名が参加します。

ご多用中とは存じますが、ご取材の検討を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

認定事業については、SFTC事務局よりニュースリリースの配信やSFTWebサイトでの事業紹介も行っております



SFTとは ニュース 活動レポート コンソーシアム会員一覧 入会方法・お問い合わせ



ランニングクリニック ～ロンドンパラリンピック金メダリストと一緒に走ろう！



日本ではじめて開催された大腿切断者向けのランニングクリニック。2人のパラリンピックメダリスト、ハインリッヒ・ポポフ選手、山本篤選手を講師に迎え、10

実施期間
2015年8月21~23日

スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業申請方法

- ① コンソーシアムに入会
- ② 各団体で事業計画を
事業認定申請書に記入
- ③ SFTC事務局へ提出
sft.info@jpnssport.jp
- ④ 運営委員会で審議・承認

企画段階で、まずはSFTC事務局
までご一報ください。

承認された事業については、SFTC
認定プログラムとして広報いた
だけます。

B

SFT 事業計画書/事業認定申請書

案件名	
-----	--

基本情報

実施団体	
支援・協力団体	
対象国/プロジェクトサイト	
案件名 (英)	
実施期間/時期	
相手国組織名 (和)	
相手国組織名 (英)	

案件概要情報

事業/プロジェクト概要	
背景	
事業/プロジェクト 目標	
成果	
主な活動/スケジュール	

お問合せ先

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局

Email: sft.info@jpnsport.jp

住所: 東京都渋谷区神宮前3-7-5 MSビルディング7階

電話: 03-6804-2776

ホームページ: <http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>